

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	02047-1	事業名	交通安全対策事業	部名	市民文化部
	実施体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	室名	地域づくり支援室	
		基本施策	06:地域安全の充実	財	会計	一般会計
		施策の方向	02:交通安全の確保	務	款	総務費
		戦略プロジェクト		科	項	総務管理費
				目	目	交通安全対策費

② 目的・概要	対象	亀山市民及び亀山市への来訪者
	目的	交通事故の発生を抑制するため、関係機関と連携した交通事故危険個所の改善に向けた取り組みや交通マナー・交通ルール の周知を図るとともに、子どもから高齢者まで年齢に応じた交通安全に関する啓発活動を推進する。 亀山警察署や亀山地区交通安全協会などと連携し、交通安全に向けた地域での活動を行う。

			24年度	25年度	26年度	
③ 指標	① 活動	名称	四季の交通安全運動の啓発活動	計画値		
		補足	出発式、早朝街頭啓発、スーパーマーケット・ドライブイン・道の駅等でのチラシ、啓発物品の配布、 チラシの全戸配布、中学生や高校生の自転車通学者への啓発、シルバースクールの開催、亀山市 交通安全教育推進員の委嘱及び研修会、懸垂幕、のぼり旗の掲揚など	実績値	34	33
			単位	回	回	回
	② 成果	名称	四季の交通安全運動の参加者	計画値		
	補足	春(4月6日～15日)280人、夏(7月11日～20日)40人、秋 (9月21日～30日)460人、年末(12月1日～10日)620人	実績値	1,000	1,900	1,400
			単位	人	人	人

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					四季の交通安全運動を中心に、出発式を3回、早朝街頭啓発を6回、自転車安全運転啓発を2回、市内のスーパーマーケット、ドライブイン、イベント開催時等に、チラシや啓発物品の配布を通じて、市民等に交通安全啓発活動を17回実施した。 また、重大な交通死亡事故が発生した現場付近にて、事故発生日から3日間、亀山警察署、亀山地区交通安全協会との合同で、再発防止に向けた啓発活動を1回(3日間)実施した。(9月12日に交通死亡事故発生。) さらに、各小学校長推薦によるPTA会員を亀山市交通安全教育推進員として委嘱し、研修会を2回、街頭啓発活動を1回実施して、交通安全全般の意識の醸成に努めた。			
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,701	平均給与額×③
		国庫支出金		1,005	934	一般職員人件費 ②	3,701	
		県支出金				所要人員 ③	0.50	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源		1,005	934	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額			0			
		総人件費		①	3,701			
	総コスト		⑥	4,635				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	亀山市・亀山警察署・亀山地区交通安全協会の3者で構成をする亀山市交通安全対策協議会や関係機関と連携し、交通安全思想の普及、向上を図ることができた。	総合判定
			B

【反省点・課題】	広く市内全域で交通安全意識の高揚を図るための啓発活動を行う必要がある。
----------	-------------------------------------

【改善の方向性】	交通安全啓発活動の取り組みを、交通安全関係団体の他に、地域コミュニティ組織に広げていく。
----------	--

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 地域づくり支援室長 深水 隆司
--------------	---------	--------------------------